美　　術	第 1 学 年	1年間の学習内容とねらい

美術の目標

（1）楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく意欲と態度を育てます。
（2）対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てます。
（3）自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てます。

評価の観点・方法

【評価の観点】
美術では、次の3つの観点で学習の評価をします。
① 知識・技能
② 思考力、判断力、表現力
③ 主体的に取り組む態度

【評価の方法】
④ 授業中の取組、作品づくりの計画性、作品の提出状況、道具や材料等の準備、授業の約束を守った学習の姿勢を評価します。
⑤ 造形的な技能、鑑賞の能力などを評価します。
⑥ 一人一人の個性に応じた評価をします。（作品づくりの計画と振り返り（自己評価）などで学習成果を積み重ねていきます）

特色ある学習方法

① 造形活動への興味・関心が高まり、楽しく美術の活動に取り組め、活動の喜びを味わえるような題材を設定します。
② いろいろな造形活動を通して造形能力の基礎を養うと共に、多様な造形表現に興味・関心をもてるような学習を工夫します。
③ ビジュアルコミュニケーション能力（視覚的に伝達する能力）を身につけ、美術を生活の中で生かし、愛好する心を育てます。

【共通事項】
ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえること。
イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1学期	1「美術科オリエンテーション」 「造形表現の基礎」 造形的な感覚、形や色について深めるための基礎的な学習をする。	●美術科の学習の仕方を学ぶ。 造形表現の基礎的な能力を身につける。 〇描くこと・つくることの楽しさ 〇造形表現の基本
	2「写し取る形-～コラグラフ～」 コラージュ表現を取り入れた凸版画を学ぶ。	●様々な材料を厚紙に貼り付けるなどコラージュし、刷り上がりの効果を予想しながらも、偶然できる表現の楽しさを味わう。 〇プレス機を使って、上下の圧力をかけた刷りを経験する。
	3「色を学ぶ、色を知る」 色彩についての基礎を学ぶ。 「文字のデザイン」「創作文字」 明朝体、ゴシック体などの基本の文字の字体を知ると共に、自ら文字をデザインする力を身に付ける。	〇小学校図工でも経験したローラーワークを発展的に使い、美しい色合いを工夫する。 ●色の三要素、色相環、三原色と混色など、色彩の基礎を学ぶ。 〇明朝体、ゴシック体などの基本の字体を学ぶ。 〇漢字のもつ意味を伝える新たな文字を創作する。
	4「心ひかれる風景」（鑑賞） 風景画作品の鑑賞を通して、心ひかれる風景を見つけ、描く喜びを知る。	●心ひかれる風景を描いた作品を鑑賞し、夏休みの課題（風景画制作）への意欲づけを行う。
2学期	6「彫刻動物園～生命力を感じて～」 新聞紙の塊を芯に、思い思いに動物をつくる。紙の豊かな可能性に気づき、紙の多様な扱いや技法を知る。	●紙の可能性を生かした立体表現を学ぶ。 〇紙という平面的な素材から立体をつくり上げる楽しさ。 〇紙の多様な扱いや技法。
	7「ステンシル版画」 孔版画の一つであると同時にデザイン表現にも繋がるステンシル版画の面白さを味わう。	●孔版画の仕組みを理解し、ステンシル版画の楽しさを味わう。 〇カッティングによる表現の面白さ。 〇色の効果を考えた配色で作品を仕上げる。
3学期	8「形と色彩のメッセージ」 「模様のデザイン」 形と色彩の特徴や印象を感じ取り、言葉では表せないビジュアルコミュニケーション（視覚伝達）の力を身につける。	●形や色彩がもつ特徴や印象、可能性を学ぶ。 〇形や色で伝える多様なビジュアルコミュニケーション（視覚伝達）の表現を知る。 〇構成美などを生かした模様をデザインする。